



## 市販薬による重篤な副作用について

平成 19 年度から平成 23 年度の 5 年間に製造業者から報告された、市販薬によるものと疑われる副作用報告数は、合計 1220 例で、毎年 250 症例前後報告されています。

薬効分類	副作用症例数	主な副作用
総合感冒薬(かぜ薬)	404	スティーブンス・ジョンソン症候群、間質性肺疾患、劇症肝炎
解熱鎮痛消炎剤	243	スティーブンス・ジョンソン症候群、喘息発作重責、腎障害
漢方製剤	132	肝機能異常、間質性肺疾患、偽アルドステロン症等
禁煙補助剤	70	アナフィラキシー様反応、狭心症、うつ病等
耳鼻科用剤	47	横紋筋融解症、痙攣、呼吸困難等
鎮咳去たん剤	25	アナフィラキシーショック、中毒性皮疹、黄疸等
鎮痛、鎮痒、収れん、消炎剤	24	接触性皮膚炎、アナフィラキシーショック、全身紅斑等
その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	24	肝機能障害、偽アルドステロン症、間質性肺疾患等
カルシウム剤	23	結腸ポリープ、胆石症、白内障等
そのほか	228	
合計	1220	

上記の中での**死亡事例は 24 例**で、**風邪薬**で 12 例、**解熱鎮痛消炎剤** 4 例、**漢方製剤**で 2 例でした。**後遺症が残った症例は 15 例**あり、**風邪薬** 8 例、**解熱鎮痛消炎剤** 2 例、**カルシウム剤** 2 例です。市販薬での副作用報告はあまり知られていないため、安易に購入しがちです。購入時には、薬剤師に説明を受ける事をお勧めします。またネット販売が解禁になりましたが、購入した際には、「いつ、どこから、何を購入したか」を記録しておいて下さい。副作用が起きた時には救済制度があります。しかし添付文書通りの服用以外は救済されません。

市販薬の服用で副作用かなと心配になった時、副作用が起きた時には購入した薬局、又は下記の連絡先にご相談下さい。

- ・医薬品副作用被害救済制度の問い合わせ  
独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
(救済制度相談窓口)  
電話番号:0120-149-931(フリーダイヤル)  
受付時間:[月~金]9時~ 17時(祝日・年末年始を除く)  
E-メール:kyufu@pmda.go.jp



参考文献 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

この病院・診療所の処方せんにも対応できます。

(お薬によっては時間がかかることがあります)あすなろ武川薬局  
薬・健康食品・サプリメント等についてのご相談を受け付けています

TEL 0551-26-3800 FAX 0551-26-3810